

有志舎の新刊です。2024年3月下旬刊行

〈学知史〉から近現代を問い直す

田中聡・斎藤英喜・山下久夫・星優也 編

A5判・ハードカバー・432ページ 本体価格 8,600円

歴史学・国文学・民俗学・神話学・思想史研究などの枠組みを超え、現代という閉ざされた時代の現実と、人文学研究の閉塞状況とともに打ち破る方向を見通す。

【目次】

はじめに：〈学知史〉は何を問い、何を明らかにしていくのか

第I部 大正デモクラシー期～一九四五年

「日本ファシズム」と天皇霊・ミコトモチ論（斎藤英喜）/一九二〇年代における国体論者間の知的交流について（西田彰一）/学知としての「帝国の歴史学」（沈熙燦）/山口麻太郎の一国民俗学批判とその背景（中野洋平）/戦時下の『源氏物語』から見る国策と学問（藤巻和宏）/アジア・太平洋戦争期の山崎闇齋研究（松川雅信）

第II部 占領期～一九五〇年代

尾藤正英と「民族の文化について」（三ツ松誠）/歴史学の境界を揺さぶる実践（高田雅士）/「伝統芸術の会」と民俗芸能（黛友明）/「民衆宗教」言説と気まぜい隣人たち（永岡崇）

第III部 高度経済成長期～一九七〇年代

六〇年安保と知識人（鎌倉祥太郎）/「民族」概念をめぐる学知の転換点（田中聡）/網野善彦と桜井好朗の学知史（星優也）/ポスト全共闘の学知としてのオカルト史研究（栗田英彦）

第IV部 戦前～戦後を通じた学知の変容と対話

「文献学者宣長」像をめぐる国学の学知史（山下久夫）/英雄時代論にみる文学と歴史（三浦佑之）/「共同体」からの抵抗（末次智）/「アイヌ文化期」概念の形成と展開（藁島栄紀）/縄文の「発見」と神話学（平藤喜久子）

〈編者紹介〉田中聡（立命館大学教授）・斎藤英喜（佛教大学教授）・山下久夫（金沢学院大学名誉教授）・星優也（池坊短期大学専任講師）

～版元から～ グローバリズムが大きく展開している現代、社会には「歴史修正主義」が跋扈し、排外主義も強まるという危機的な状況となっています。そうした時代動向に抗するためには、改めて近現代における多彩な学知の歴史を振り返る必要があります、その〈学知史〉から何を批判的に継承し、あるいは新たな視点・方法を創り、現代社会との緊張感のなかでどのような歴史像を描いていくのか。本書は、そうした視点から、それを生み出した近現代そのものを問い直し、読み替えていこうとする挑戦です。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	〈学知史〉から近現代を問い直す 田中聡・斎藤英喜・山下久夫・星優也 編	日本史・民俗学・ 国文学・神話学
	ご担当	A5判・ハードカバー、432ページ 本体価格 8,600円	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	様	新刊 ISBN 978-4-908672-73-6 C3021	

ご注文は (株) JRC へ

FAX: 03-3294-2177

電話: 03-5283-2230

返品条件付注文です。